

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 愛知県知多郡東浦町立緒川小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒470-2102
愛知県知多郡東浦町大字緒川字八幡7番地

E-mail : hogashot@ma.medias.ne.jp

Website : http://ogawashou.blog119.fc2.com/

児童生徒数：男子 242名 女子 219名 合計 461名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

1) ねらい

教育課程全体にE S Dの要素を取り入れて、全学年で実践を進める。

2) 実践内容

①年間指導計画の作成

本校では、生活科と総合的な学習の時間を一体的な構造のものと捉え、総合学習「生きる」として編成している。そして、6年間で、環境・人間・国際の3領域とのかかわりを通して、子どもたちに自分自身のよりよい生き方を探究させてきた。本年度は、これまでの総合学習「生きる」の各活動を「自然とのつながり」「社会とのつながり」「人とのつながり」の3つに整理し、教科等の学習内容との関連を整理した「E S Dカレンダー」を作成した。また、E S Dの視点を取り入れた評価規準「E S Dに基づいた学習計画」を作成した。

②豊かな体験活動

体験活動が探究的な学習になるよう、単元構想や体験活動の計画、活動の振り返りと発表を通した学び合いを大切にしている。

- ・ゲストティーチャーによる本物を知り体験する学習。
- ・地域とのつながりを知る「町たんけん」や、老人会の方々との交流。
- ・校地内の樹木の観察、緑のカーテンや米作りを通した環境学習。
- ・アートマイルプロジェクトを通した国際理解学習。
- ・ホワイトボードを活用した、学び合う姿勢を高める話し合い活動。
- ・全校集会「朝のつどい」でE S Dについて理解を深める学習。
- ・学習活動の様子や成果を「おがわっ子フェスティバル」で発表。

③教師の学び合い

E S D推進役のユネスコスクールであることを自覚すると共に、E S Dの実践を共有し、学び合いを大切にしている。

- ・「E S D推進」の名札を着用し、実践を意識化。
- ・教科や道徳をE S Dの視点で見直した校内授業研究の実施。
- ・E S Dの実践を職員室内の掲示板で報告し合う「今週のE S D」。
- ・E S Dの実践や子どもの姿を紹介する職員向け通信の発行。
- ・各学年の活動を紹介する校内の掲示板の写真に、E S Dの視点を明記。

④保護者や地域への発信

- ・PTA総会や学年懇談会でE S Dの説明や資料の配付。
- ・保護者向けの学習会（教育講座）の開催。
- ・ホームページと学校便りで、E S Dの実践や子どもたちの活動を紹介。

3) 成果と課題

主体的に学ぶ姿や、よりよい考え方を導き出そうとする姿が見られた。作成した評価規準は子どもの変容を基に検証が必要である。

年度初めに行ったアンケートを年度末にも行い、子どもたちの意識の変化を捉えた。さらに、子どもの実態を捉えるために、教員にもアンケートを行った。年度末には、実践を踏まえ、「E S Dで育てたい3つの力」を提案し、次年度の実践につなげることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
 時間外活動の時間を使用

- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()